

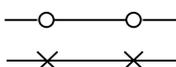
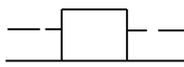
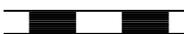
# 明示測量記号調書

## 1 文字

	フォント	文字サイズ
町名・家屋	明朝・ゴシック	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
地番	ゴシック・FCフォント	レタリング100程度の大きさ
注記	明朝・ゴシック	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
アルファベット・数字	ゴシック・FCフォント	赤字については、高さ3mmとする。 その他については、赤字とのバランスを考慮し見やすい大きさとする。
タイトル	明朝	特に設定しない。図面上見やすい大きさ
文字間隔		特に設定しない。図面上見やすい大きさ

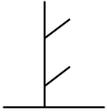
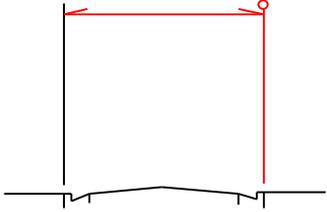
## 2 図面表記

### (1) 平面図

家屋	 右側と下側に影を付ける。 (家屋線内側に二重線)
フェンス	
街渠柵	
マンホール	 下(下水道) E(電気) G(ガス) T(電話) 等
樹木(独立樹)	
樹木(生垣)	
樹木(庭園木)	
ブロック	
カズラ石	

舗装	As (アスファルト)	Co (コンクリート)	Gr (土)
	ILB (インターロッキング)	石張り (石張り)	
横断割線	幅員表示が下向きにならない限り、数字を横断方向の向きに合わせて表示する。		
敷地境界線	黒実線で表示		

## (2) 断面図

家屋	 <p>屋根の表記はしない。</p>
旗上げ	<p>朱線は断面図を貫通させない。</p> 

## (3) 網図

タイトル	基準点網図とする。
------	-----------

## 3 線

朱線	やや太め (0.20mm~0.25mm)
現況線	細線 (0.15mm~0.20mm)

#### 4 座標一覧表

##### (1)境界点等の種別と記号

上から	基準(補助)点(T)	
	コンクリート杭(C)	
	京都市境界標の場合	京都市コンクリート杭(C)
	プレート(P)	
	京都市境界標の場合	京都市プレート(P)
	<small>びょう</small> 鉈(N)	
	ポイント(K)	
	既設コンクリート杭(既C)	
	既設プレート(既P)	
	<small>びょう</small> 既設鉈(既N)	
	既設ポイント(既K)	
	引照点(I)	の順とする。

##### (2)項目

左から	点名(点の記号の後に順に番号を付する)	
	X座標	
	Y座標	
	種別	の順とする。

##### (3)種別

引照点は引照点と表記せず、現況の種類のみを表記する。
----------------------------

#### 5 分割図

##### 分割図の例

